



附属図書・芸術資料館だより

2025 年 10 月発行

～AUTUMNUS～

沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館

沖縄県那覇市首里当蔵町 1-4

TEL : (098)882-5038

FAX : (098)882-5068

<http://www.lib.okigei.ac.jp/lib.html>



田辺尚雄の蔵書より 高瀬 澄子



本学図書館には、「田辺文庫」と呼ばれる蔵書がある。田辺文庫とは、日本・東洋音楽の研究者として知られる田辺尚雄（1883-1984）の旧蔵書の一部を、子息である田辺秀雄（1913-2010）が寄贈したものである。

田辺尚雄は、大正 11 年（1922）7 月から 8 月にかけて沖縄・宮古・八重山を訪れ、音楽や芸能の調査を行った。その概要は、東洋音楽学会編『南洋・台湾・沖縄音楽紀行』（音楽之友社、1968）によって知ることができる。田辺尚雄に師事した山内盛彬（1890-1986）は、この時、田辺の案内役を務めている。

田辺文庫の中に、『節組琉歌集』（大城彦五郎編、1922）という書がある。表紙を見ると、「呈田辺尚雄先生」「山内盛彬」と墨書されている。おそらく田辺の来沖時に、山内が贈呈したものであろう。

『琉球音楽安富祖流 工工四 序文』と題する書は、表紙に「田辺尚雄蔵」と墨書され、「珍本」という書き込みもある。扉と 1 丁表に、「田辺蔵書」と押印されている。全 20 丁の写本で、草書と楷書が混在しており、書写者は不明である。内容的には現行の安富祖流工工四の冒頭に掲載された文章群にほぼ相当するものだが、工工四はない。この書について、田辺秀雄は、「これは私の父から伝えられたものですが、父がどうして手に入れたかは聞いていません。恐らく大正 11 年沖縄音楽調査で渡沖の際に入手したものでしょう」（『絃声のひびき』安富祖流絃声会、1988）と述べている。田辺秀雄はまた、安室朝持の「自筆の原稿のよう」だとも述べており、安室朝持（1841-1916）は安富祖流工工四の最初の編纂者とされているので、もし自筆だとすれば現行の安富祖流工工四の最も古い資料だということになるが、今の所これ以上の事情はわからないままである。

「ひとり灯のもとに文をひろげて、見ぬ世の人を友とするぞ、こよなう慰むわざなる」と兼好法師は言った（『徒然草』第 13 段）。図書館で古い書物、特に手書きの書物に向かっていると、私はしばしばこの言葉を思い浮かべる。現代はネットの情報が溢れる世の中だが、古びた本の手触りの中には、かつて生きていた人々の息遣いが感じられる。学生の皆さんも、人生に迷った時や思い悩んだ時、SNS や AI だけでなく、図書館を訪れて本と対話すると、思わぬ答えが返ってくるかもしれない。

（文中敬称略）

（音楽学部 音楽文化専攻 音楽学コース 教授）

担当のいちおし！和雑誌特集

芸大図書館にはたくさんの雑誌が所蔵されています。
今回はその中から和雑誌担当のいちおしをご紹介します。



『milsil』(ミルシル)

国立科学博物館が発行している、自然と科学の情報誌。宇宙や星々の解説から虫の生態の話まで、専門的だけど分かりやすいお話が掲載されています。最新号は「年縞」(ねんこう)のお話。切り株に年輪ができるように、ある条件下の湖に堆積した地層を「年縞」と呼び、解析すると数万年前の気候も読み取れるそうです！



Casa BRUTUS(カーサ ブルータス)

デザイン、ファッション、建築、グルメ、旅行、アートなど多岐にわたるコンテンツが掲載されているので、分厚さが凄い雑誌です。内容も毎回読み応えがあり、最新号はなんとも可愛らしいミャクミャクが表紙を飾っています。大阪万博の案内が非常に詳しく載っているので、閉幕前の駆け込み旅行に向けて一読してみてもは。 (閉幕は10月13日です)



聴く中国語

中国語を勉強するのならこちらをお供に。よく使われるフレーズや、中国と日本の時事ニュースなどが幅広く掲載されており、その全てに日本語と中国語訳があるので日本語しか分からなくても楽しく読めます。しかも無料音声ダウンロードも付属！司書のおすすめページは中国ドラマのワンシーンの翻訳。生きた会話が学べます。

蔵書点検終了しました

今年も8/18(月)～9/5(金)の期間に蔵書点検を実施しました。

今年度の蔵書点検数(地下)は約10万冊でした。年々増えていくので大変です。

期間中は貸出・複写やILLサービスを停止することとなり、ご迷惑をおかけ致しました。

ご理解・ご協力誠にありがとうございました。

「御後絵(おごえ)」は琉球国王の死後に描かれた肖像画で、王家の菩提寺である円覚寺で管理されていました。琉球処分以後には、王家の屋敷であった中城御殿で第二尚氏の歴代国王や王子の御後絵が保管されていましたが、1945年の沖縄戦後の混乱期に所在不明となりました。その後長きにわたり、鎌倉芳太郎が大正時代に撮影したモノクロ写真が御後絵実像を伝える唯一の資料とされてきました。ところが、戦後79年を経た昨年3月に御後絵の実物4件がアメリカから返還されて、大きな注目を集め、現在は修復作業が進められているところです。本展では、鎌倉芳太郎が大正時代に撮影したガラス乾板を東京文化財研究所の最新のデジタル技術によって撮影して作った高精細デジタル画像を用いて作成した御後絵の原寸大写真パネルを初公開します。あわせて重要文化財に指定されている御後絵の紙焼き写真、昨年帰国した4件の御後絵のデジタル写真なども展示いたします。

令和7年度沖縄県立
芸術大学

御後絵展

鎌倉芳太郎写真の高精細画像を中心に

【会期】：2025/10/23(木)～11/3(月)
【時間】：10:00-17:00 (入館は16:30) まで
【場所】：第1・第2展示室
※11月3日(月・祝)は20:00まで
会期中は無休

リサイクル資料・雑誌の付録お譲りします

図書館にて受入基準に満たなかった資料、保存年限を過ぎた雑誌、雑誌の付録をお譲りします。

・期間：11/1(土) ～ 11/14(金)
・場所：附属図書館入口

転売・換金・その他営利目的の持ち帰りは固くお断りしております
持ち帰り用の袋などをご自身でご持参いただくようお願い申し上げます



附属図書・芸術資料館 利用統計 (7月～9月)

【図書館】

開館日数		47日
来館者数		1167人
貸出数	学生・院生	712点
	教職員	162点
	合計	874点

【芸術資料館】

展示室利用日数	67日
展覧会数	14件
入館者数	2345人
平均入館者数	35人/日



開催期間	展示内容	出展者	展示会場
10/3(金) ～ 10/8(水)	赤みそ、白みそ、手前みそ	デザイン専攻	第 2 展示室
10/23(木) ～ 11/3(月)	芸術資料館 自主企画展	附属図書・芸術資料館	第 1 ～ 第 2 展示室
11/8(土) ～ 11/13(木)	デザイン修士 成果展	デザイン専攻	第 1 展示室
	芸術文化学研究科 田東沢 研究展覧会	芸術文化学研究科 博士課程	第 2 展示室
	芸術文化研究科 曹婷婷 研究展覧会	芸術文化学研究科 博士課程	第 3 展示室
11/26(水) ～ 11/29(土)	田辺尚雄・吉川英史本学旧蔵楽器と復元三線展	音楽専攻	第 1 展示室
11/26(水) ～ 11/30(日)	message in a bottle	絵画専攻	第 2 ～ 第 3 展示室
12/3(水) ～ 12/4(木)	油画 4 年・院 2 年中間講評会	絵画専攻	第 1 ～ 第 3 展示室
12/11(木) ～ 12/21(日)	香川先生退任記念展	絵画専攻	第 1 展示室
	芸術文化学研究科 嘉数翔 学位審査展覧会	芸術文化学研究科 博士課程	第 2 ～ 第 3 展示室

図書館 開館カレンダー（10月～12月）

10 月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

13 日: スポーツの日
 30 日: 特別短縮開館
 31 日: 沖芸祭準備期間のため短縮開館

11 月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2～3 日: 沖芸祭
 3 日: 文化の日
 4 日: 沖芸祭片付けの為短縮開館
 24 日: 勤労感謝の日(23 日)の振替休日

12 月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

12/22～1/8 日: 冬期休業のため短縮開館
 24～28 日: 後学期 12 月集中講義
 26 日: 御用納め

12 月 29 日～1 月 2 日
年末年始にともなう休館